

岐阜県茶業振興大会開催  
 ～揖斐川町のお茶をPR～

9月5日(土)、揖斐川町中央公民館で岐阜県茶業振興大会が行われ、県内から関係者などおよそ400人の参加がありました。

この大会は、県内の茶生産者の交流や技術の向上、さらに県内外の消費者へPRし消費拡大を図る目的で行われています。オープニングセレモニーは、町重要無形民俗文化財の桂古代踊が披露されました。

また、岐阜県茶総合品評会の審査の成績が発表され、町内では、農林水産大臣賞に(農)桂茶生産組合組合長の太田恒雄さん、東海農政局長賞に(農)桂茶生産組合副組合長の太田廣美さんがそれぞれ受賞されたほか、町内小中学生による研究発表と(農)桂茶生産組合によるJGAPの取組みについての発表がありました。



▲表彰状を受け取る太田恒雄さん



▲小学生の発表の様子



▲オープニングを飾った桂古代踊り

地震や火災に備え  
 ～総合防災訓練開催～



▲2次避難所に向かう住民の皆さん

揖斐川町・揖斐郡消防協会合同の総合防災訓練が、小島小学校を会場として9月13日(日)に行われました。静岡県駿河湾を震源とする大規模な地震が発生したことを想定し行われた訓練は、住民の皆さんは避難広報により集会所などの一次避難所へ、町全域でおよそ1万2千人が避難しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・通信などの関係機関による復旧訓練や自衛隊第35普通科連隊による災害派遣訓練、女性防火クラブ、少年消防クラブによる初期消火訓練、日赤奉仕団による炊き出し、災害救助ボランティアによる負傷者搬送訓練など、さまざまな訓練が行われました。

今回の訓練で住民の皆さんの防災意識がさらに高まりました。



▲消防団による倒壊家屋救出訓練の様子



▲少年消防クラブの初期消火訓練の様子

公共下水道事業竣工  
清流揖斐川を次代へ

9月25日(金)、胥永地区特定環境保全公共下水道事業の竣工式が、関係者約60人が出席し胥永浄化センターで行われました。

胥永地区の公共下水道は、平成16年度に県の事業認可を受け、本年9月に胥永浄化センター(汚水処理場)が完成し、来年3月に管渠工事が完成します。10月1日より供用開始となり、胥永地区の生活環境が大きく改善され、清流揖斐川の豊かな自然環境を守ることが出来ます。

竣工式では、来賓の県議会議員らによるテープカットで事業の完成を祝いました。



▲テープカットの様子

セントジョージシマラン  
国際交流事業



▲セントジョージマラソンのスタート地点で撮影

9月30日(水)から7日(水)まで、アメリカ・ユタ州・セントジョージ市とのマラソン交流事業が行われました。昨年のいびがわマラソンで優秀な成績を収められたランナーの皆さんが、10月3日のセントジョージマラソンに参加し見事完走されました。成績は次のとおりです。(敬称略)

- 下村 悟 2時間26分10秒 (男子フル5位)
- 辻井 智代 3時間10分22秒 (女子フル45位)
- 川地 悟 3時間12分53秒 (男子フル330位)
- 窪田美季子 4時間32分23秒 (女子フル1495位)
- 岡本 太 4時間39分07秒 (男子フル2464位)
- 窪田 伝昌 5時間12分00秒 (男子フル2841位)

伊勢湾台風から50年  
「モニュメント」追悼の碑」除幕

昭和34年9月の伊勢湾台風から50年を期に、坂内坂本(諸家地区)にモニュメント「追悼の碑」が建立されました。

このモニュメントは伊勢湾台風のような被害が発生せず、平穏な地域が続くようにと、地域の皆さんが材料を持ち寄って石垣を造り、その上に土砂によって流された神社の鳥居の一部が建てられたものです。

9月6日(日)、モニュメントの除幕式が行われ、完成を祝いました。



▲モニュメントの除幕の様子

更生保護制度施行60周年記念  
揖斐郡更生保護大会開催



▲児童による意見発表の様子

9月26日(土)、揖斐川町中央公民館で、更生保護制度施行60周年記念揖斐郡更生保護大会が開催されました。

更生保護制度は、昭和24年に犯罪者予防更生法が施行され罪を犯した人や非行少年を社会の中で適切に処遇することで更生を支援する制度です。

大会では、長年更生保護事業にご尽力された賛助会員の皆さんに感謝状が贈呈されたほか、更生保護女性会などの活動紹介や揖斐郡内の小学生と揖斐高校生による意見発表、そして揖斐川町BBSによる演劇「レ・ミゼラブル」が行われました。



▲幻想的な雰囲気のほうろ踊り

5メートルのほうろが幻想的  
川上ほうろ踊り

30年以上続いてきた川上ほうろ踊りが9月19日(土)、坂内川上の八幡神社で行われました。

川上ほうろ踊りは、農作物の収穫に感謝し、雨乞いを祈願する踊りとしてじまったとされています。

踊り手が背負う「ほうろ」は、前日に準備して飾られ、竹の長さは、5メートルほどあります。

夜に行われた踊りは、鐘や太鼓をたたき、そのリズムに合わせて竹に飾られたほうろが、夜空に大きく波打っていました。

白檜踊り  
子どもも大人も一緒に踊る



▲白檜踊りを披露する保存会の皆さん

9月20日(日)、白檜神社などで白檜踊りが披露されました。

白檜踊りは、およそ800年の歴史を誇り、大垣城主の勧めで始まった雨乞いが起源とされる伝統の舞です。

踊りは、白檜地区の公会堂、光蓮寺、白檜神社の3か所で披露されました。

揖斐川町には、鎌倉・室町時代の頃に起源を持つといわれる太鼓踊りが多く、多くの地区で継承されています。

これらの郷土芸能は、地域の皆さんの手でこれからも受け継がれていくことでしょう。

坂内坂本で秋祭り  
坂内神の踊り

9月23日(水)、坂内坂本地区で秋まつりが行われ、神の踊りが披露されました。

神の踊りは、古来より伝わる祭りの芸能として受け継がれており、踊りは古調を正しく伝えて風情豊かに踊られています。全国の民俗芸能の中で質の良い風流太鼓踊りだとされています。

現在は、地元の小学生、中学生も、坂内坂本地区の伝統芸能である神の踊りや歌の伝承に参加しています。



▲子どもたちも加わり踊りが披露されました

工事の安全を願う  
次代を担う子どもたちのため



▲安全祈願祭の様子(大和小学校にて)

揖斐川町では、子どもが育てやすく、安全・安心な地域づくりのために、町内の幼児園、小中学校などの耐震化を進めています。

耐震化・改築事業は、平成20年度末に国からの交付金を活用し、安全で安心な地域づくりを確立するための重点施策として、一部の事業を前倒しで実施し、順次進めています。

9月14日(月)におじま幼児園改築工事、9月17日(木)には、大和小学校北舎改築工事の安全祈願祭が行われました。

改築される園舎や校舎は、耐震性を十分に確保しながらも付近の景観との調和に配慮した親しみやすい建造物となります。

地産地消に一役  
給食に揖斐川町産の大豆を

町内産の大豆を給食で利用するために、蒸し大豆の供給方法の統一化を指導する研修会が、グリーンネットいび(小島)で行われました。

この日、研修に参加されたのは、町内で農産物の加工を手がけている3つの団体で、給食センターの栄養士の指導で、蒸し具合や出荷の方法などを学んでいました。

現在、町内産の大豆は、シチューの材料などで、小中学校などの給食に利用されています。



▲蒸し大豆の作り方を学ぶ参加された皆さん

各地域で長寿をお祝い！  
揖斐川町敬老会



▲健康広場アリーナで行われた揖斐川地域の敬老会の様子

揖斐川町敬老会が9月9日(水)に坂内、15日(火)に揖斐川・谷波、16日(水)に久瀬・藤橋、17日(木)に春日のそれぞれの地域で町内在住の77歳以上の方を対象に開催され、およそ1400人の皆さんが参加されました。

この行事は、長年にわたり社会に貢献されてきた高齢者の皆さんを敬愛し、長寿をお祝いする目的で行われています。各会場では、太鼓演奏や体操、漫談など多彩な催しが行われどの会場も笑顔で溢れていました。

水源地域を環境保全  
清掃活動や環境パトロール

NPO揖斐自然環境レンジャー・揖斐川上流漁業協同組合・財団法人いびがわ 生命の水と森の活動センターが主催で、9月19日(土)に揖斐川上流水源地域の清掃・環境パトロール活動、9月27日(日)には、夜叉ヶ池清掃登山が行われました。

両活動には、およそ120人が参加し、揖斐川上流の河川や登山道、道路など約34キロメートルの清掃活動とごみなど廃棄物の不法投棄防止のための環境パトロールを実施しました。



▲揖斐川上流地域の清掃・環境パトロール活動の様子

叙勲(旭日単光章)受章



▲叙勲の伝達が行われました。

7月12日(日)に亡くなられた平井昭二さん(谷汲名札)が旭日単光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

平井さんは、平成元年9月から谷汲村議会議員として3期12年の長きにわたり在職され、特に平成10年9月からの1年間は議長として谷汲地域の発展と議会の円滑な運営にご尽力されました。

これら生前の功労が認められ今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに心からご冥福をお祈りします。